

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

はい〇〇 どちらともいえない△ いいえ×× 該当事項がないー

実施日: 2023年 1月 31日

環境整備・体制整備	スタッフ氏名								コメント
	A	B	C	D	E	F	G	H	
1 利用定員が指導訓練室などスペースとの関係で適切であるか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	イベントなど広いスペースを必要とする場合は、プレイルームまでスペースを確保し、適宜対応している。
2 職員の配置数は適切であるか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	市の条例『指定通所支援等の事業の人員等に関する基準等を定める条例』以上の人員を配置している。
3 事業所の設備などについて、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	×	×	×	×	×	×	×	×	建物の構造上、バリアフリー化は十分にできていない状態にある。事業所内にか所段差があるが段差にコーナードを付けてできる限りの安全対策を行っている。
業務内容									
4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	業務改善の見直しなど、振り返りや会議で検討し全職員に周知している。
5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向などを把握し、業務改善につなげているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	保護者向けアンケートの結果について検討し、業務改善につなげている。
6 この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	自己評価を実施し、結果をHPで公開している。
7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	-	-	-	-	-	-	-	-	依頼可能な方を検討し、必要に応じて対応していく。
8 職員の資質の向上をおこなうために研修の機会を確保しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	社員向け研修や外部研修など職員の自発的な参加を増やし、知識と技術の向上を目指している。
適切な支援の提供									
9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	契約時と6ヶ月以内に1度の保護者面談でアセスメントを実施。ニーズや課題を分析し、職員間で協議を行い、個別支援計画を作成している。
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	独自のアセスメントツールを使用し活用できるように職員全員で共有している。
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	活動を提案、実施する職員とサポート職員、また、児童発達支援管理責任者とチームでおこなっている。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	週間テーマに基づき、個々に合わせたトレーニングを実施している。
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を柔軟に設定して支援しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	平日の活動プログラムに加え、休日の外出イベントや創作活動など課題に合った支援を行っている。
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	保護者の要望や児童の状況に応じて適宜組み合わせた計画書を作成している。
15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	支援開始前にトレーニング内容やねらい、サポート職員の配置など詳細な打ち合わせをおこなっている。
16 支援終了後は、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	支援終了後の振り返りで、支援方法の再確認を行い、職員間で共通認識している。
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	支援終了後に、職員で振り返りし、支援日誌を記録。支援の検証・改善に努めている。
18 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要と判断しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	毎月の振り返りとしてモニタリングを実施し、6ヶ月以内に1度のモニタリング・アセスメントで計画書の見直しを行っている。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	基本活動をテーマに組み合わせた支援を提供しているが、地域交流については保護者の意向を考慮した上で慎重に検討していく。
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	相談支援事業所からのサービス担当者会議は最もふさわしい者が参加し、情報交換をおこなっている。
21 学校との情報共有(年間計画、行事予定等の交換、下校時刻の確認など)、連絡調整(送迎時対応、トラブル発生連絡)を適切に行っているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	学校側の事情で、なかなか受け入れが難しい情報共有ができていない学校もある。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	現在、該当事項はないが、今後必要な場合は、医師との連絡体制を整えている。
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	-	-	-	-	-	-	-	-	保育園、幼稚園との間ではできていないが、児童発達支援事業所との情報共有を継続している。
24 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	現在、該当事項はないが、今後、必要に応じて保護者の承諾を得たうえで情報を提供していく。
25 児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	-	-	-	-	-	-	-	-	ケースワーカーからのモニタリング時、助言を受け情報交換を行っている。
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	保護者の意向も考慮していかなければならない問題であるため、慎重に検討していく。
27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	障害児通所支援事業連絡会に所属し定例会・連絡会に参加している。
28 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	送迎時や電話・メール連絡で常に共通理解ができるように努めている。
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	△	△	△	△	△	△	△	△	ペアレントトレーニング研修に参加したり、外部のペアレントトレーニングを実施した保護者との情報交換は行ってきたが、具体的に支援という形では行っていない。今後、必要に応じて検討していく。
保護者への説明責任等									
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	見学時や契約時に細かな説明を行い、運営規定については玄関先に提示している。また、利用者負担等については、変更時にその都度、書面で提示し、承諾の署名・捺印をもらっている。
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言や支援を行っているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	保護者との信頼関係に重点を置き、適切な助言や支援に努めている。
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	年1回、保護者間の交流の場として保護者会を開催している。
33 子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	苦情窓口を設置し、保護者への周知を行い、迅速かつ適切な対応に努めている。
34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	毎月、通信を配布し、トレーニング内容やイベントのお知らせを行っている。
35 個人情報に十分注意しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	研修や事業所内勉強会で職員全体に周知し、適切な取り扱い、保管に努めている。
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	意思の疎通や情報伝達のための配慮として、予定や約束事を事前に分かりやすく説明することを職員間で意思統一している。
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	-	-	-	-	-	-	-	-	保護者の意向も考慮していかなければならない問題であるため、慎重に検討していく。
非常時等の対応									
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知を図っているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	各マニュアルについて、契約時に説明し、体制等提示している。 定期的に事業所内勉強会を行い、職員の認識統一に努めている。
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	定期的に市の条例で定められた避難訓練(訓練の種類や回数)を継続して行っている。
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど適切な対応をしているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	職員の積極的な研修参加とともに、事業所内勉強会で職員間の意思統一の徹底に努めている。
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	保護者との含み話し合いを重ねた上、十分な説明を得て、計画書への記載を行っている。
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	-	-	-	-	-	-	-	-	現在、該当事項はないが、今後必要な場合は、医師の指示書に基づく対応に努める。
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	日々の振り返り確認を行い記録を残し、全職員に周知と共有を行っている。 虐待防止委員会で議題として取り上げ、事例の検証を行い、改善策を検討している。